

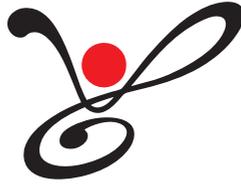


東京フィルハーモニー交響楽団
Tokyo Philharmonic Orchestra



2021

1



©上野隆文

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます
新たなシーズンの開幕を迎え、
オーケストラの響きとともに広がる<新しい景色>を
心ゆくまでお楽しみください

東京フィルハーモニー交響楽団

オフィシャル・スポンサー

SONY

Rakuten

マルハチ

LOTTE

JP BANK ゆうちょ銀行

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団は上記の企業から特別なご支援をいただいております。

第946回サントリー定期シリーズ

終演予定20:00

1.22 (金)19:00開演 サントリーホール 大ホール

第947回オーチャード定期演奏会

終演予定16:00

1.24 (日)15:00開演 Bunkamura オーチャードホール

指揮：アンドレア・バッティストーニ

コンサートマスター：近藤 薫

1/22

1/24

ラヴェル：『ダフニスとクロエ』 第1組曲 (約12分)

- I. 夜想曲
- II. 間奏曲
- III. 戦いの踊り

ラヴェル：『ダフニスとクロエ』 第2組曲 (約15分)

- I. 夜明け
- II. 無言劇
- III. 全員の踊り

ストラヴィンスキー：バレエ組曲『火の鳥』(1919年版) (約20分)

- I. 序奏
- II. 火の鳥とその踊り
- III. 火の鳥のヴァリアシオン
- IV. 王女たちのロンド
- V. カステイの凶悪な踊り
- VI. 子守歌
- VII. フィナーレ

主催：公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団
 助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) |
 独立行政法人日本芸術文化振興会
 協力：Bunkamura(1/24)



※本公演に休憩はございません。

※演奏中や曲間・楽章間での退場につきましては、体調に不安がある場合など、無理せず
 ご判断ください。その際、周りのお客様の鑑賞の妨げとならぬよう、ご配慮いただければ幸いです。

※再入場・途中入場の際にはスタッフの案内で入場券記載とは異なるお席への着席をお願いすることがございます。

※お帰りの際には、ご来場者全員のチケットを回収させていただきます。お手数ですが、ロビーの回収ボックスに投函してお帰りください。ご協力をお願い申し上げます。

出演者プロフィール

1/22

1/24



©上野隆文

指揮

アンドレア・バッティストーニ

Andrea Battistoni, conductor

東京フィルハーモニー交響楽団 首席指揮者

1987年ヴェローナ生まれ。国際的に頭角を現している同世代の最も重要な指揮者の一人と評されている。2013年ジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ歌劇場の首席客演指揮者、2016年10月東京フィル首席指揮者に就任。

『ナブッコ』、『リゴレット』（二期会）、グランドオペラ共同制作『アイダ』のほか、ローマ三部作、『展覧会の絵』『春の祭典』等数多くの管弦楽プログラムで東京フィルを指揮。東京フィルとのコンサート形式オペラ『トゥーランドット』（2015年）、『イリス（あやめ）』（2016年）、『メフィストーフェレ』（2018年）で批評家、聴衆の双方から音楽界を牽引するスターとしての評価を得た。同コンビで日本コロムビア株式会社よりCDのリリースを継続している。

スカラ座、フェニーチェ劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、スウェーデン王立歌劇場、アレーナ・ディ・ヴェローナ、バイエルン国立歌劇場、マリンスキー劇場、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、イスラエル・フィル等世界の主要歌劇場・オーケストラと共演を重ねている。2017年には初の著書『マエストロ・バッティストーニのほくたちのクラシック音楽』（音楽之友社）を刊行。

楽曲紹介

解説=井上さつき

1/22

1/24

「早くこっちにいらっしやい! 『火の鳥』をまた見に行くのにあなたを待っていますよ。何というオーケストラだ!」

1910年6月25日、イーゴリ・ストラヴィンスキー(1882-1971)のバレエ『火の鳥』の初演をパリ・オペラ座で見たモーリス・ラヴェル(1875-1937)は興奮し、パリを離れていた親友のモーリス・ドラージュに宛てて、このように書き送っている。このとき、28歳の無名のロシア人のストラヴィンスキーがバレエ・リュス(ロシア・バレエ団)のために書いた『火の鳥』の初演は、センセーショナルな成功をおさめ、ストラヴィンスキーとバレエ・リュス双方の名声を高めることになった。

当時、フランスではロシア・ブームが巻き起こっていた。1894年、露仏同盟が正式に締結されたことにより、両国は蜜月時代を迎えていた。そこに登場したのが、ロシア出身の辣腕プロデューサー、セルゲイ・ディアギレフ(1872-1929)である。「天才を見つける天才」と謳^{うた}われたディアギレフは、美術、音楽、舞踏等の広いジャンルに通じ、数々の美術展やコンサート、オペラ、バレエの舞台を手がけたが、なかでも、彼が主宰するバレエ・リュスは1909年からパリを拠点に活動し、大きな反響を呼んだ。ディアギレフは自分が目をつけた作曲家たちにバレエ曲の作曲を次々に委嘱した。こうして生まれたのが、今回演奏されるストラヴィンスキーやラヴェルの作品であった。

ラヴェル(1875-1937)

『ダフニスとクロエ』第1組曲、第2組曲

ラヴェルはディアギレフから1909年にバレエの作曲を依頼された。この時期、ラヴェルの創作活動はきわめて盛んであった。台本は、踊り手・振付師のミハイル・フォーキンが3世紀頃のギリシアの作家ロンゴスの抒情詩を基に書いたものである。バレエの初演は1912年に行われたが、その前年、全曲の完成に先だって第1組曲が完成し、ピエルネ指揮のコンセール・コロヌで初演された。このようにバレエの初演の前に管弦楽組曲版が初演されるということは珍しい。

バレエのあらすじは以下のとおりである。

第1部 パンの神とニンフの祭壇の前：ダフニスとクロエが登場する。牛飼いのドルコンがクロエに言い寄る。ダフニスとドルコンは踊りで勝負し、ダフニスが勝利するが、その後、海賊が来襲し、クロエはさらわれてしまう。それを知って絶望するダフニス。ニンフが現れてダフニスを蘇生させ、パンの神に祈らせる。

第2部 海賊ブリュアクシスの陣営：海賊の首領の前に連れて来られたクロエは、脱出の機会をうかがうが失敗し、あわやというところで、突然パンの神の巨大な幻影が現れ、海賊たちは逃げ去る。

第3部 第1部と同じ祭壇の前：「夜明け」の音楽の後、ダフニスとクロエの感動的な再会となる。老羊飼いが、パンの神はかつて愛したシリックスの思い出ゆえに、クロエを助けたのだと説明する。そこで、ダフニスとクロエはパンの神とシリックスの恋をまねた「無言劇」を演じる。祭壇の前で、二人は愛を誓い、パンの神とニンフを讃えて「全員の踊り」が熱狂的に踊られる。

ラヴェルは、バレエに基づく組曲を二つ作った。第1組曲は第1部の終曲から第2部の前半にかけての音楽が使われている。恋人たちが引き裂かれてしまったあとの情景を描く「夜想曲」で開始され、神秘的な「間奏曲」を経て、海賊たちが舞う「戦いの踊り」によって閉じられる。一方、第2組曲は1913年に作られたもので、バレエの第3部の音楽の大半(冒頭のみを除く)を使用している。「夜明け」によって、再会を果たす恋人たちの姿が描かれ、パンの神の故事来歴を語る「無言劇」が続く(パンの神が奏でる笛の音をフルートが表現する)、華やかで圧倒的な迫力のある「全員の踊り」で最後が締めくくられる。

■第1組曲

【作曲年代】1909～1912年 【初演】1911年4月2日 パリ、シャトレ劇場にて、ガブリエル・ピエールネの指揮による

【楽器編成】ピッコロ、フルート2、アルト・フルート、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン、E♭クラリネット、クラリネット2、バス・クラリネット、ファゴット3、コントラファゴット、ホルン4、トランペット4、トロンボーン3、チューバ、ティンパニ、打楽器（タンバリン、中太鼓、大太鼓、トライアングル、アンティーク・シンバル、シンバル、ウィンドマシーン、グロッケンシュピール）、ハーブ、ピアノ、チェレスタ、弦楽5部

■第2組曲

【作曲年代】1909～1912年 【初演】1912年6月8日 パリ、シャトレ劇場にて、ピエール・モントゥーの指揮による（バレエ初演）

【楽器編成】ピッコロ、フルート2（2番はピッコロ持ち替え）、アルト・フルート、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン、クラリネット2、E♭クラリネット、バス・クラリネット、ファゴット3、コントラファゴット、ホルン4、トランペット4、トロンボーン2、バス・トロンボーン、チューバ、ティンパニ、打楽器（タンブリン、小太鼓、ミリタリードラム、大太鼓、カステネット、トライアングル、シンバル、グロッケンシュピール）、ハーブ2、チェレスタ、弦楽5部

ストラヴィンスキー（1882-1971）

バレエ組曲『火の鳥』（1919年版）

ストラヴィンスキーはロシアで音楽を学んだ後、ディアギレフに抜擢されて、バレエ・リュスのために三大バレエ——『火の鳥』（1910）、『ペトルーシュカ』（1911）、『春の祭典』（1913）——を作曲し、時代の寵児となった。

出世作の『火の鳥』はロシア民話にもとづき、ロシアの民謡に由来する旋律や複雑なリズムが用いられ、革新的なバレエ音楽となっている。

あらすじは以下のとおりである。

王子イワンが森で火の鳥をつかまえる。火の鳥は羽を一枚あげるから逃がしてほしいと王子に嘆願し、放してもらう。そこへ魔王カステイに捕らわれている王女たちがやってきて踊り、王子はその中の一人に恋をする。王子は王女たちを助けようとカステイの城に乗り込むが、捕らえられてしまう。カステイは王子を石に変えようとするが、王子が火の鳥の羽を持っているため魔法が効かず、逆に、そこに飛んできた火の鳥の魔法によって踊らされ、眠ってしまう。そのすきに王子はカステイの生命が秘められた卵を見つけ出して叩き壊し、カステイは息絶える。王子は王女と結婚して大団円となる。

ストラヴィンスキーはこのバレエ音楽をもとに、3種類のバレエ組曲（1911年版、1919年版、1945年版）を編んだ。その中では、今回演奏される1919年版がもっともポピュラーで、全7曲から構成される。魔法の国の夜が暗示される「序奏」、火の鳥の来場を告げる「火の鳥とその踊り」、火の鳥が舞う「火の鳥のヴァリアシオン」、王女たちが踊る「王女たちのロンド」、火の鳥の魔法によってカスチェイが踊り狂う「カスチェイの凶悪な踊り」、踊り疲れて眠ったカスチェイ一味に火の鳥が歌ってきかせる「子守歌」が続き、華麗な「フィナーレ」によって全曲が締めくくられる。

【作曲年代】1910 / 1919年 【原曲初演】1910年6月25日 パリ、オペラ座にて、ガブリエル・ピエルネの指揮による

【楽器編成】フルート2（2番はピッコロ持ち替え）、オーボエ2（2番はイングリッシュ・ホルン持ち替え）、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、バス・トロンボーン、チューバ、ティンパニ、打楽器（タンバリン、太太鼓、トライアングル、シンバル、サスペンデッド・シンバル、シロフォン）、ハーブ、ピアノ、チェレスタ、弦楽5部

いのうえ・さつき／愛知県立芸術大学音楽学部教授。慶應義塾大学、東京藝術大学、明治学院大学等で非常勤講師をつとめる。東京藝術大学大学院修了。論文博士。パリ・ソルボンヌ大学修士課程修了。専門は近代フランス音楽史と日本の洋楽器受容史。著書に『パリ万博音楽案内』（音楽之友社、1998）、『音楽を展示する——パリ万博1855-1900』（法政大学出版局、2009）、『フランス音楽史』（共著/春秋社、2010）、『日本のヴァイオリン王——鈴木政吉の生涯と幻の名器』（中央公論新社、2014）、『ラヴェル 作曲家・人と作品シリーズ』（音楽之友社、2019）、『ピアノの近代史——技術革新、世界市場、日本の発展』（中央公論新社、2020）、訳書にオレンシュタイン『ラヴェル』（音楽之友社、2006）など。

2021シーズン開幕！

首席指揮者アンドレア・バッティストーニ

東京フィルと拓く
『新しい景色』

©上野隆文

『新しい景色をみたい』をテーマに開幕した東京フィルの2021シーズン。首席指揮者アンドレア・バッティストーニは1月・5月・11月の定期演奏会と、人気シリーズ「午後のコンサート」に登場します。2020年はマエストロが暮らすイタリアでも大規模なロックダウンが行われ、多くの劇場やコンサートホールが公演活動の中断を余儀なくされました。そのような中でも「芸術は死なない」と力強い言葉を投げかけてくれたマエストロに、シーズンの聴きどころをたずねました。

——2020年はマエストロの住むイタリアでも大規模なロックダウンが行われました。マエストロはロックダウンの間、どんなことをして過ごしていたのでしょうか？

「最初は、家にいてパートナーと余暇時間を“何もしない”で過ごすことの楽しさを再発見していました。

しかし、それから、時間を無駄にしたいくないという恐ろしい感覚が芽生え、合唱とオーケストラのための長大な交響曲を作曲し始めました。そ



イタリア、ヴェローナの自宅で

れまでの私のスケジュールでは十分な余裕を見つけることができなかったプロジェクトでした。作曲をしたり、それまで知らなかった新しい楽譜を勉強したりと、とてもクリエイティブな時期を過ごしました。幸いにも知り合いにウイルスに感染した人がいなかったのも、しばらくは自分の家の外のことは忘れて、音楽に没頭することができたのです」

——演奏活動ができなくなった生活の中で、どんなことを感じましたか？

「大きな喪失感です。それまでは1年のうち、ほぼ毎週のようにお客様の前で演奏することに慣れていました。今、世界的にライブ演奏を許可している国はごくわずかしかありません(2020年11月時点)。私の音楽人生で、これが今回のパンデミックで被害を被ったことです。音楽を作り出す過程で、お客様はアクティブな役割を果たしてくれています。お客様がいることでその空間に特別な緊張感と電流が生まれ、音楽は音楽家やお客様と一体となって呼吸を始めるのです。ライブが本当に恋しいです」

——今の世界の音楽界の状況をどのように感じているでしょうか。

「誰もが慣れない不確かさと、不安と言ってよいものを感じています。オーケストラやコンサートマネジメントといった民間の団体が、世界中で大きな危機にさらされています。大規模なものから小さなものまで、すべての音楽団体が、会場やもてなし方を工夫してお客様の健康を最大限に確保するよう、甚大な努力をしたと思っています。劇場やコンサートホールは今や安全な場所なのです！ 私たちが文化的ミッションを継続できるよう、政府は私たちを信頼しなくてはなりません」



東京フィル2021シーズンがいよいよ開幕した

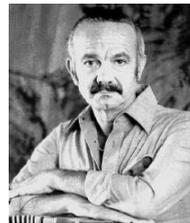
——それでは、東京フィル2021シーズンの演目について教えてください。

1月定期演奏会<永遠の時を生きる>

「シーズンは1月に“バレエ・リュスの宵”でスタートします。私の好きな二つのバレエ作品『ダフニスとクロエ』と『火の鳥』に焦点を当てます。どちらも再生、新しい夜明け、新しい太陽が生命を吹き込み、祝福をもたらす音楽です。ラヴェルのスコアに描かれた“夜明け”のシーンは、これまで作曲された最も美しい音楽的な日の出の一つですが、それによって啓示された太古の世界を描きます。ストラヴィンキーの英雄と怪物のおとぎ話は、善と悪の永遠の戦いを描いて、最後のクライマックスでは悪が破壊され、自由と希望に満ちた新たな世界が始まるのです」

5月定期演奏会<見果てぬ夢を>

「5月には、ブエノスアイレスとヴェローナという二つの都市に音楽の旅をします。実を言うと、私はそこまでピアソラのタンゴ音楽のファンではないのですが、最初に「シンフォニア・ブエノスアイレス」を聴いたとき、こんなにも刺激的で面白いのか!と、とても驚きました。そして、ピアソラ100歳の誕生日を記念して、彼の唯一のフル・オーケストラのためのオリジナル曲であるこの作品を日本で演奏したいと思ったのです。彼のブエノスアイレスの描写はとてもダイナミックでエネルギッシュ、



2021年に生誕100年を迎えたアルゼンチン・タンゴの巨匠、アストル・ピアソラ (1921-1992)

そして彼が愛するタンゴのおかげで、熱くセクシーです!その後、プロコフィエフの『ロメオとジュリエット』で私の故郷ヴェローナに移動します。第1組曲と第2組曲から私が好きな曲を選んで、二人の不幸な恋人の悲劇の物語をお贈りします」



「ロメオとジュリエット」の舞台となったのはマエストロの故郷、古都ヴェローナ。自宅バルコニーからも美しい建造物が見える

11月定期演奏会＜バッティストーニの作品＞

「11月には私が作曲したフルート協奏曲、ヒエロニムス・ボスの絵画にインスパイアされた『快樂の園』を演奏できることを大変光栄に思っています。この協奏曲は、私の長年の音楽パートナーであるトンマーズ・ベンチョリーニから、彼のためにコンチェルト作品を書いてほしいと頼まれ書いたもので、今年ロックダウンが始まる数日前、3月8日にベルリン・フィルハーモニーで初演されました。

トンマーズはイタリアで最も優れた若手フルート奏者の一人で、フルートのレパートリーを広げるために新しい作品を初演することに非常に興味を持っていました。彼は私の室内楽曲をこれまで何度も演奏してくれているので、私の方も彼の能力がわかっており、彼に合わせてこの協奏曲を書いたのです。この作品は、ボスの想像力豊かな芸術へのオマージュであり、彼の奇妙でドラマチックでグロテスクなビジョンを、非常に親しみやすい書法で音楽に呼び起こそうとしています。この曲に、私の好きな交響曲の一つ、チャイコフスキーの第5番を組み合わせたプログラムとなっています。

ロマンティシズム、興奮、そして音楽を通じて語られる物語。これが、今シーズンのプログラムの共通のテーマになると思います」

——皆マエストロとの再会を心待ちにしていました。東京フィルのお客様へのメッセージを、あらためてお願いいたします。

「この奇妙な1年を後にし、新たな希望と自信を持って未来を見据えることができるよう、また演奏できることを楽しみにしています」



ヒエロニムス・ボス『快樂の園』(1503-1504)
ブラド美術館



トンマーズ・
ベンチョリーニ

今後の公演情報、発売日など詳細は22ページをご覧ください。

東京フィルウェブサイト/SNSでも随時情報更新中!

東京フィル



The 946th Suntory Subscription Concert

Fri. January 22, 2021, 19:00 at Suntory Hall

The 947th Orchard Hall Subscription Concert

Sun. January 24, 2021, 15:00 at **Bunkamura** Orchard Hall

Andrea Battistoni, conductor

Kaoru Kondo, concertmaster

Ravel:

Daphnis et Chloè Suite No. 1 (ca. 12 min)

- I. Nocturne
- II. Interlude
- III. Danse guerrière

Ravel:

Daphnis et Chloè Suite No. 2 (ca. 15 min)

- I. Lever du jour (Daybreak)
- II. Pantomime
- III. Danse générale

Stravinsky:

Firebird Suite (1919 version) (ca. 20 min)

- I. Introduction
- II. The Firebird and its dance
- III. The Firebird's variation
- IV. The Princesses' Khorovod (Rondo, round dance)
- V. Infernal dance of King Kashchei
- VI. Berceuse (Lullaby)
- VII. Finale

Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra

Subsidized by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan |

Japan Arts Council

In Association with **Bunkamura** (Jan 24)



-
- There will be no intermission during the concert.
 - Entering and exiting during the performance will be tolerated. If you do not feel well, please exit or enter as you need. However, please mind the other listeners so that they will be minimally disturbed.
 - If you enter or reenter in the middle of the concert, we may escort you to a seat different from the one you were originally assigned.
 - We will collect tickets from all audiences when you leave. Please post your tickets in the collection box in the lobby before you leave the concert. We would sincerely appreciate your cooperation.

22
Jan

24
Jan

Artists Profile



©Takafumi Ueno

Andrea Battistoni, conductor

Chief Conductor of the Tokyo Philharmonic Orchestra

Born in Verona in 1987, Andrea Battistoni is a rising star conductor with an international reputation as one of the most important of his generation. Appointed First Guest Conductor at the Teatro Carlo Felice in Genova in 2013 and Chief Conductor of the Tokyo Philharmonic Orchestra in 2016.

He has been causing a sensation in Tokyo with his charisma and sensitive musicality, conducting Tokyo Phil for operas such as Nabucco, Rigoletto (Nikikai), and Aida (co-produced grand opera), and numerous symphonic works including the Roman Trilogy, Pictures at an Exhibition and Rite of Spring. His subsequent concert-style Turandot (2015), Iris (2016), and Mefistofele (2018) secured his reputation as a leading light to critics and audiences alike. He has been regularly releasing CDs with the Tokyo Phil through Nippon Columbia.

Other noteworthy engagements include: Teatro alla Scala, La Fenice in Venice, Deutsche Oper Berlin, Stockholm Opera House, Arena di Verona, Bayerische Staatsoper in Munchen, Mariinsky Theatre and world renowned orchestras such as Filarmonica della Scala, Accademia di Santa Cecilia, & Israel Phil.

His future plans include Deutsche Oper Berlin, Bayerische Staatsoper, Dutch National Opera, & Australia Opera in Sydney. His book", Non è musica per vecchi," was published by Rizzoli published in 2012, and by Ongaku-No-Tomo-Sha in Japan in 2017.

22
Jan24
Jan

Program Notes

By Robert Markow

RAVEL: DAPHNIS ET CHLOÉ - Suites Nos. 1 & 2

For sheer opulence of orchestral color, for orgiastic rhythms, and for ravishingly sensuous harmonies, Ravel's ballet score *Daphnis et Chloé* remains one of the glories of twentieth-century music. The work was commissioned by Sergei Diaghilev for the 1912 Paris season of his Ballets russes. The choreography was by Michel Fokine, the sets by Léon Bakst, and musical direction by Pierre Monteux. Nijinsky and Karsavina danced the title roles at the premiere on June 8, 1912. Fokine's inspiration came from his reading of the pastoral romance *Daphnis and Chloe* by the early (second or third century) Greek writer Longus. As a reflection of its "symphonic" choreography (Ravel's description), it is pertinent to note that *Daphnis et Chloé* is far more often heard in the concert hall than seen danced on the stage.

22
Jan

24
Jan

From the complete, hour-long ballet score we hear the two so-called "suites" – "so-called" because they are not really suites in the conventional sense of the term (a series of short excerpts arranged in coherent order, as in Tchaikovsky's *Nutcracker Suite*), but rather two extended, continuous passages of about fifteen minutes each. Actually, they form a complementary pair, for the First Suite takes place almost entirely in darkness while the Second Suite begins at dawn and takes the action into the bright of day.

The storyline takes place in a pastoral setting. At the beginning of the ballet, the title characters interact with shepherds and nymphs, while they slowly realize that they love each other. Suddenly pirates enter and abduct Chloe. Daphnis is devastated, and falls unconscious to the ground. This is the point at which the First Suite begins. The light fades. Statues of three nymphs come to life, do a slow, mysterious dance, and try to comfort Daphnis. They lead him to the altar of the god Pan, and Daphnis invokes his aid. All is now completely dark. A wordless chorus (replaced by an arrangement for

winds if chorus is unavailable) is heard in the distance, singing *a cappella* (unaccompanied) in mysteriously enchanting sounds. Gradually, the light of torches can be made out. They come from the pirates' camp, which eventually comes into focus. The pirates do a coarse, warlike dance that gives the orchestra free reign to indulge in splendidly virtuosic effects, bringing the First Suite to a brilliant conclusion.

Chloe tries to escape her captors, but cannot. The pirate chief makes amorous advances on her. Suddenly a strange light illuminates the night sky. It is Pan, responding to Daphnis' plea, come to rescue Chloe. He scoops her up in a cloud and sets her down in the meadow nearby the grotto where Daphnis earlier invoked Pan's divine assistance. We are now ready for the magnificent Second Suite, the best known music from the ballet.

Dawn breaks over the sleeping Daphnis, still estranged from his beloved Chloe. Rippling woodwinds, cascading glissandos in the harps and celesta, and a slowly rising melody in the strings combine in one of the richest, most sumptuous and magical sounds ever evoked from an orchestra. Birds are singing, shepherds are piping, brooks are bubbling, dew is glistening in the pristine morning air. Daphnis searches for, and, aided by Pan, finds Chloe. Daphnis and Chloe then mime the love story of Pan and the nymph Syrinx as a tribute to Pan's help in reuniting them. The languorous solos played by the flute (Pan's traditional instrument) represent the god's courtship of Syrinx. The two declare their love, and everyone joins in a sensuous dance which grows to almost unbearable intensity and bacchanalian frenzy.

The spectacular, dazzling and richly sensuous effects found in the Second Suite have made it one of the most popular works in the entire orchestral repertory. Composer Gardner Read's vivid description may serve as a summary of Ravel's achievement: "As an entity, the orchestra is made to gleam with a luminous and shimmering iridescence. Now glassy, now faintly clouded, now crystalline, now huskily blurred and veiled – the play of instrumental colors is like quicksilver. The listener is caught up in a wash of varicolored sounds, and enmeshed in a web of kaleidoscopic transparency; the senses are soothed, the imagination quickened, the emotions warmly caressed."

22
Jan24
Jan

MAURICE RAVEL: Born in Ciboure, Pyrénées-Atlantiques, March 7, 1875; died in Paris, December 28, 1937

[Suite No. 1] **Work composed:** 1911 **World premiere:** April 2, 1911 at the Théâtre du Châtelet in Paris conducted by Gabriel Pierné

Instrumentation: piccolo, 2 flutes, alto flute, 2 oboes, English horn, E \flat clarinet, 2 clarinets, bass clarinet, 3 bassoons, contrabassoon, 4 horns, 4 trumpets, 3 trombones, tuba, timpani, percussion (tambourine, tenor drum, bass drum, triangle, antique cymbals, cymbals, wind machine, glockenspiel), harp, piano, celesta, strings

[Suite No. 2] **Work composed:** 1911-12 **World premiere:** June 8, 1912, at the Théâtre du Châtelet in Paris conducted by Pierre Monteux (The complete ballet)

Instrumentation: piccolo, 2 flutes (2nd doubling on piccolo), alto flute, 2 oboes, English horn, 2 clarinets, E \flat clarinet, bass clarinet, 3 bassoons, contrabassoon, 4 horns, 4 trumpets, 3 trombones, bass trombone, tuba, timpani, percussion (tambourine, snare drum, military drum, bass drum, castanets, triangle, cymbals, glockenspiel), 2 harps, celesta, strings

22
Jan24
Jan

STRAVINSKY: FIREBIRD SUITE (1919 version)

The Firebird was Stravinsky's first full-length ballet score and the first to bring him international acclaim. Early in 1908, impresario Sergei Diaghilev and choreographer Michel Fokine began preparing for the first Paris season of the Ballets russes. In discussing repertory, they realized that the company had nothing descriptive of Russia's rich folklore. Fokine suggested the Firebird legend, and began investigating Afanasiev's large anthology of Russian fairy tales in order to provide a scenario. What he eventually produced was a synthesis of several stories centering on the figures of the wonderful Firebird, the terrible ogre Kashchei and the hunter Prince Ivan.

The premiere on June 25, 1910 at the Théâtre national de l'Opéra in Paris was an enormous success, and catapulted Stravinsky into the international spotlight. Equally important was the fact that, in the words of composer and musicologist Roman Vlad, "it changed the very nature of the Russian

Ballet. Instead of merely exporting Russian art, from now on Diaghilev was encouraged by this success to try and stimulate the creation of new works of art on an international scale, promoting real collaboration among leading musicians, painters and writers, with results which will go down as landmarks in the history of modern art in general.” It was almost inevitable that a suite be extracted from the 45-minute work, and within a year, Stravinsky had done just that. A second suite, somewhat different from the first, was prepared in 1919. This, the most popular of the three *Firebird* suites, is the one we hear on this concert, and is one of the most frequently performed works in the entire orchestral repertory, a description it shares with the Second Suite from Ravel’s *Daphnis*.

Stravinsky poured his utmost creative talents into the score, resulting in music of sumptuous hues, exotic fantasy and orchestral enchantment. Its powers to seize and fix a mood can be found at every turn: in the opening bars an atmosphere of night, mystery and evil; the riotous colors of the Firebird herself depicted by the woodwinds, celesta and percussion; the barbaric, frenzied music of Kashchei; and the glorious Finale replete with massive, gleaming chords in the brass that leave no doubt as to the happy outcome of the story.

IGOR STRAVINSKY: Born at Oranienbaum, June 17, 1882; died in New York City, April 6, 1971

Work composed: 1910 / 1919 **World premiere** (Original Version): June 25, 1910 at the Opéra de Paris conducted by Gabriel Pierné

Instrumentation: 2 flutes (2nd doubling on piccolo), 2 oboes (2nd doubling on English horn), 2 clarinets, 2 bassoons, 4 horns, 2 trumpets, 3 trombones, bass trombones, tuba, timpani, percussion (tambourine, bass drum, triangle, suspended cymbals, cymbals, xylophone), harp, piano, celesta, strings

Formerly a horn player in the Montreal Symphony, Robert Markow now writes program notes for that orchestra as well as for numerous other musical organizations in North America and Asia. He taught at Montreal’s McGill University for many years, has led music tours to several countries, and writes for numerous leading classical music journals.

2021 Season Subscription Concerts Lineup

Join us for the ultimate concert experience by subscribing to our concert series below. For details, please access our website! <https://www.tpo.or.jp/en>

*Note: Tokyo opera city concert hall will be closed till the end of April 2021 because of its renewal.

February

Sun Feb 21, 15:00
at Bunkamura Orchard Hall

Wed Feb 24, 19:00 at Suntory Hall

conductor: Myung-Whun Chung

Soprano: Tamayo Yoshida

Mezzo-soprano: Etsuko Kano

New National Theatre Chorus

— **We Will Recover** —

Mahler:

Symphony No. 2 in C minor,
"Resurrection"

Single tickets available

22
Jan

24
Jan

March

Fri Mar 12, 19:00 at Suntory Hall

Sun Mar 14, 15:00
at Bunkamura Orchard Hall

conductor: Mikhail Pletnev

— **A Symphonic Poem of Immortality** —

Smetana: *Má Vlast* (*My Country*)

No. 1. Vyšehrad (The High Castle)

No. 2. Vltava (The Moldau)

No. 3. Šárka

No. 4. Z českých luhů a hájů

(From Bohemia's Meadows and Forests)

No. 5. Tábor

No. 6. Blaník

Single tickets available

May

Wed May 12, 19:00
at Tokyo Opera City Concert Hall

Thu May 13, 19:00 at Suntory Hall

Sun May 16, 15:00
at Bunkamura Orchard Hall

conductor: Andrea Battistoni

— **The Unfulfilled Dream** —

Piazzolla:

Sinfonia Buenos Aires, Op. 15
(Japan Premiere)

Prokofiev:

Excerpts from ballet *Romeo and Juliet*

Single tickets will be
available from March on

June

Thu Jun 17, 19:00
at Tokyo Opera City Concert Hall

Fri Jun 18, 19:00 at Suntory Hall

Sun Jun 20, 15:00
at Bunkamura Orchard Hall

conductor: Tadaaki Otaka
piano: Ayako Uehara

— Music for Forever —

Rachmaninov:

Rhapsody on a Theme of Paganini Op. 43
Symphony No. 2 in E minor, Op. 27

Single tickets will be
available from March on

July

Thu Jul 1, 19:00
at Tokyo Opera City Concert Hall

Fri Jul 2, 19:00 at Suntory Hall

Sun Jul 4, 15:00
at Bunkamura Orchard Hall

conductor: Myung-Whun Chung

— All Brahms' Symphonies —

Brahms:

Symphony No. 1 in C minor, Op. 68
Symphony No. 2 in D major, Op. 73

Single tickets will be
available from March on

September

Thu Sep 16, 19:00
at Tokyo Opera City Concert Hall

Fri Sep 17, 19:00 at Suntory Hall

Sun Sep 19, 15:00
at Bunkamura Orchard Hall

conductor: Myung-Whun Chung

— All Brahms' Symphonies —

Brahms:

Symphony No. 3 in F major, Op. 90
Symphony No. 4 in E minor, Op. 98

Single tickets will be
available from March on

November

Mon Nov 1, 19:00 at Suntory Hall

Wed/Holiday Nov 3, 15:00
at Bunkamura Orchard Hall

Thu Nov 4, 19:00
at Tokyo Opera City Concert Hall

conductor: Andrea Battistoni
flute: Tommaso Benciolini

**— Japan Premier of Battistoni's
Flute Concerto —**

Battistoni:

Flute Concerto "*The Garden of Delights*"
(Japan Premiere)

Tchaikovsky :

Symphony No. 5 in E minor, Op. 64

Single tickets will be
available from March on

東京フィルだより

2月の定期演奏会



チョン・ミョンフン

©上野隆文



吉田珠代

加納悦子

第948回オーチャード定期演奏会

2月21日(日) 15:00

Bunkamuraオーチャードホール

第949回サントリー定期シリーズ

2月24日(水) 19:00

サントリーホール

指揮：チョン・ミョンフン(名誉音楽監督)

ソプラノ：吉田珠代

メゾ・ソプラノ：加納悦子

合唱：新国立劇場合唱団

— 必ずよみがえる! —

マーラー／交響曲第2番『復活』

3月の定期演奏会



ミハイル・プレトニョフ

©上野隆文

第950回サントリー定期シリーズ

3月12日(金) 19:00

サントリーホール

第951回オーチャード定期演奏会

3月14日(日) 15:00

Bunkamuraオーチャードホール

指揮：ミハイル・プレトニョフ

(特別客演指揮者)

— 不滅の交響詩 —

スメタナ／連作交響詩『わが祖国』(全曲)

※2020年3月延期公演

【料金】SS¥15,000 S¥10,000 A¥8,500 B¥7,000 C¥5,500

※残席状況は東京フィルチケットサービスまでお問合せください。

お申込み・お問合せは
東京フィルチケット
サービスまで

03-5353-9522(平日10時~18時/土日祝休)

<https://www.tpo.or.jp/>(24時間受付・座席選択可)

2021シーズン 今後の定期演奏会

2021年1月に開幕した東京フィルの2021シーズンのテーマは「**新しい景色をみたい**」。東京フィルが誇るマエストロたちと織りなす空前絶後の1年間、皆様の目前に新しい景色をお届けして参ります。

5～11月定期演奏会 1回券発売日

最優先(賛助会員・定期会員)	3月13日(土)
優先(東京フィルフレンズ)・WEB優先	3月20日(土・祝)
一般	4月6日(火)

<p>2月 指揮：チョン・ミョンフン (東京フィル名誉音楽監督) ソプラノ：吉田珠代 メゾ・ソプラノ：加納悦子 合唱：新国立劇場合唱団</p> <p>2月21日(日) 15:00 Bunkamuraオーチャードホール 2月24日(水) 19:00 サントリーホール</p>	<p>— 必ずよみがえる! — マーラー/ 交響曲第2番 八短調『復活』</p> <p style="text-align: right;">1回券発売中</p>
<p>3月 指揮：ミハイル・プレトニョフ (東京フィル特別客演指揮者)</p> <p>3月12日(金) 19:00 サントリーホール 3月14日(日) 15:00 Bunkamuraオーチャードホール</p>	<p>— 不滅の交響詩 — スメタナ/ 連作交響詩『わが祖国』(全曲)</p> <p style="text-align: right;">1回券発売中</p>
<p>5月 指揮：アンドレア・バッティストーニ (東京フィル首席指揮者)</p> <p>5月12日(水) 19:00 東京オペラシティ コンサートホール 5月13日(木) 19:00 サントリーホール 5月16日(日) 15:00 Bunkamuraオーチャードホール</p>	<p>— 見果てぬ夢を — ピアソラ/ シンフォニア・ブエノスアイレス Op.15 (日本初演)</p> <p>プロコフィエフ/ バレエ音楽『ロメオとジュリエット』より</p> <p style="text-align: right;">1回券3月発売</p>

※東京オペラシティコンサートホールは設備改修工事のため、2021年1月20日(水)から4月30日(金)まで休館となります。

6月 指揮：尾高忠明
 (東京フィル桂冠指揮者)
 ピアノ：上原彩子*

6月17日(木) 19:00
 東京オペラシティ コンサートホール
 6月18日(金) 19:00
 サントリーホール
 6月20日(日) 15:00
 Bunkamuraオーチャードホール

— 復活を遂げた作曲家 —
 ラフマニノフ/
 バガニーニの主題による 狂詩曲 Op. 43 *
 交響曲第2番 ホ短調 Op. 27

1回券3月発売

7月 指揮：チョン・ミョンフン
 (東京フィル名誉音楽監督)

7月1日(木) 19:00
 東京オペラシティ コンサートホール
 7月2日(金) 19:00
 サントリーホール
 7月4日(日) 15:00
 Bunkamuraオーチャードホール

— ブラームス 交響曲の全て —
 ブラームス/
 交響曲第1番 八短調 Op. 68
 交響曲第2番 二長調 Op. 73

1回券3月発売

9月 指揮：チョン・ミョンフン
 (東京フィル名誉音楽監督)

9月16日(木) 19:00
 東京オペラシティ コンサートホール
 9月17日(金) 19:00
 サントリーホール
 9月19日(日) 15:00
 Bunkamuraオーチャードホール

— ブラームス 交響曲の全て —
 ブラームス/
 交響曲第3番 へ長調 Op. 90
 交響曲第4番 ホ短調 Op. 98

1回券3月発売

11月 指揮：アンドレア・パッティストーニ
 (東京フィル首席指揮者)
 フルーツ：トンマーズ・ベンチョリーニ*

11月1日(月) 19:00
 サントリーホール
 11月3日(水・祝) 15:00
 Bunkamuraオーチャードホール
 11月4日(木) 19:00
 東京オペラシティ コンサートホール

— パッティストーニの作品 —
 パッティストーニ/
 フルーツ協奏曲『快樂の園』*~ボスの絵画
 作品によせて(2019)(日本初演)

チャイコフスキー/
 交響曲第5番 ホ短調 Op. 64

1回券3月発売

問合せ 東京フィルチケットサービス

発表日などの詳細は

Tel 03-5353-9522 (平日10時~18時・土日祝日休/
 発売日の土日祝は10時~16時)
 URL www.tpo.or.jp/(24時間受付・座席選択可)



2021シーズン 午後のコンサート。まもなくセット券発売開始!



Chris / G.

イラスト: ハラダチエ

2021シーズンの「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」3シリーズのラインナップを発表いたしました! 2020シーズンのセット券をご購入いただいたお客様には、一般発売に先立って継続のご案内をお送りしております。

2021シーズンも、名曲と楽しいお話で充実の午後のひとときをお届けします。

午後のコンサート(渋谷／平日／休日 各シリーズ共通)				
4回セット券	S席	A席	B席	C席
定価	¥20,520	¥16,560	¥11,160	¥8,400
東京フィルフレンズ	¥18,468	¥14,904	¥10,044	¥7,560

※一回券は4回セット券販売後残席ある場合のみ販売いたします。

午後のコンサート4回セット券 発売日	
最優先発売(賛助会員・定期会員)	2021年 2/13(土)
優先発売(東京フィルフレンズ会員)	2021年 2/20(土)
一般発売	2021年 3/11(木)

“大人の渋谷” Bunkamuraで楽しむ 渋谷の午後のコンサート Bunkamura オーチャードホール

4月21日(水) 第9回

指揮とお話: 川瀬賢太郎
ヴァイオリン: 千住真理子*



二人は聖火ランナー

ビゼー／歌劇『カルメン』前奏曲
ヴィヴァルディ／『四季』より「春」第1楽章*
チャイコフスキー／ヴァイオリン協奏曲より第1楽章*
フツーク／剣士の入場
ベートーヴェン／交響曲第7番より第1楽章、第4楽章

6月9日(水) 第10回

指揮とお話: 尾高忠明



名曲には名シーン

フェイン／映画『慕情』より「慕情」
ワーグナー／楽劇『ワルキューレ』より
「ワルキューレの騎行」
スタイナー／映画『風と共に去りぬ』より
「タラのテーマ」
ストラヴィンスキー／バレエ組曲『火の鳥』(1919年版) ほか

9月7日(火) 第11回

指揮とお話: 小林研一郎



コパケンのチャイコフスキークライマックス!!

チャイコフスキー／
歌劇『エフゲニー・オネーギン』よりポロネーズ
弦楽セレナードより第1楽章
交響曲第6番『悲愴』より第3楽章
交響曲第5番より第2楽章
交響曲第4番より第4楽章

11月2日(火) 第12回

指揮とお話:
アンドレア・パッティストーニ



パッティストーニの運命

ヴェルディ／歌劇『運命の力』序曲
ヴォルフ＝フェラーリ／歌劇『マドンナの宝石』間奏曲
ブッチーニ／歌劇『マノン・レスコー』間奏曲
ベートーヴェン／交響曲第5番『運命』 ほか

ゆったりと、平日午後に「音楽のご褒美」平日の午後のコンサート 東京オペラシティ コンサートホール

5月6日(木) 第21回

指揮とお話:
アンドレア・バッティストーニ

バッティが語る

モーツァルト／歌劇『フィガロの結婚』序曲
ケテルビー／ベルシャの市場にて
ワルトイフェル／スケーターズ・ワルツ
ドヴォルザーク／ユーモレスク
交響曲第8番より第3楽章、第4楽章

ほか

7月27日(火) 第22回

指揮とお話:尾高忠明



テンポはマーチ

古関裕而／スポーツショー行進曲
J.F. ワグナー／行進曲「双頭の鷲の旗の下に」
スーザ／行進曲「星条旗よ永遠なれ」
レスピーギ／交響詩『ローマの松』より
「アツピア街道の松」

ほか

10月21日(木) 第23回

指揮とお話:円光寺雅彦
ピアノ:清塚信也*

忘れ難きふるさと

グリーグ／
劇付随音楽『ペール・ギュント』より
「朝～山の魔王の宮殿にて」
ラフマニノフ／パガニーニの主題による狂詩曲*
ドヴォルザーク／交響曲第9番『新世界より』

photo: アンドレア・バッティストーニ©Takafumi Ueno 尾高忠明©Martin Richardson 円光寺雅彦©K.Miura ミツ橋敬子©大杉隼平 仲道郁代©Kiyotaka Saito(SCOPE)

2022年2月3日(木) 第24回

指揮とお話:三ツ橋敬子
ピアノ:仲道郁代*

夢を語りますか

リスト／ハンガリー狂詩曲第2番
ショパン／アンダンテ・スピアナートと
華麗なる大ゴロネーズ*
ハチャトゥリアン／劇音楽『仮面舞踏会』よりワルツ
チャイコフスキー／幻想序曲『ロメオとジュリエット』

元祖!22年目を迎える“ご長寿”シリーズ 休日の午後のコンサート 東京オペラシティ コンサートホール

6月6日(日) 第88回

指揮とお話:尾高忠明



名曲には名シーン

フェイン／映画『慕情』より「慕情」
ワグナー／楽劇『ワルキューレ』より
「ワルキューレの騎行」
スタイナー／映画『風と共に去りぬ』より
「タラのテーマ」
ストラヴィンスキー／バレエ組曲『火の鳥』(1919年版) ほか

9月5日(日) 第89回

指揮とお話:小林研一郎



コバケンのチャイコフスキークライマックス!!

チャイコフスキー／弦楽セレナードより第1楽章
バレエ組曲『くるみ割り人形』より
「行進曲～トレパック～花のワルツ」
交響曲第6番『悲愴』より第3楽章
交響曲第5番より第2楽章
交響曲第4番より第4楽章

ほか

11月7日(日) 第90回

指揮とお話:
アンドレア・バッティストーニ

バッティストーニの運命

ヴェルディ／歌劇『運命の力』序曲
ヴォルフ＝フェラーリ／歌劇『マドンナの宝石』間奏曲
ブッチェーニ／歌劇『マン・レスコー』間奏曲
ベートーヴェン／交響曲第5番『運命』

ほか

2022年2月6日(日) 第91回

指揮とお話:三ツ橋敬子
ピアノ:仲道郁代*

テーマは愛

リスト／ハンガリー狂詩曲第2番
ショパン／アンダンテ・スピアナートと
華麗なる大ゴロネーズ*
ハチャトゥリアン／劇音楽『仮面舞踏会』よりワルツ
チャイコフスキー／バレエ組曲『白鳥の湖』より

photo: 尾高忠明©Martin Richardson 小林研一郎©山本倫子 アンドレア・バッティストーニ©Takafumi Ueno ミツ橋敬子©大杉隼平 仲道郁代©Kiyotaka Saito(SCOPE)

10月定期演奏会(10/19, 22, 25)

2020シーズン最後の定期演奏会となった10月定期演奏会は、アソシエイト・コンダクターのチョン・ミンが登場。2月定期以来の海外アーティストを迎えての公演となりました。生誕250年を迎えた楽聖ベートーヴェンの“凄さ”を堪能できる迫力のオール・ベートーヴェン・プログラムをお贈りいたしました。

指揮：チョン・ミン
(東京フィル アソシエイト・コンダクター)

ヴァイオリン：服部百音*

ベートーヴェン／ヴァイオリン協奏曲*
ベートーヴェン／交響曲第5番『運命』

*当初出演を予定していたチョン・ミョンフンの来日が不可能になったことにより指揮者・演目を変更して開催しました



リハーサル風景より



2019年6月定期演奏会につづき、2度目の定期登場となった若き俊英チョン・ミン



国際的な活躍が目覚ましい服部百音さんをお迎えしてのヴァイオリン協奏曲。全楽章で自作のカデンツァを披露しました



演奏会を開催できる喜びを実感した2020シーズン、たくさんの温かいご声援と拍手を誠にありがとうございました。2021シーズンも安心・安全に演奏をお届けできるよう努めてまいります

「午後のコンサート。」シリーズより

10月、11月の午後のコンサートは、豪華共演者との息の合った演奏とお話をお楽しみいただきました。

10月14日(水)

第20回

平日の午後のコンサート

〈夢見る頃を過ぎても〉

指揮とお話：角田鋼亮

ヴァイオリン：前橋汀子

11月22日(日)

第86回

休日の午後のコンサート

〈夢見る日々

〜いい夫婦の日〜〉

指揮とお話：円光寺雅彦

ソプラノ：市原愛

11月25日(水)

第8回

渋谷の午後のコンサート

〈あの名曲アルバム〉

指揮とお話：円光寺雅彦

ピアノ：清塚信也

提携都市公演より

11月28日(土)

響きの森クラシック・シリーズ Vol. 74

指揮：小林研一郎

ピアノ：小山実稚恵*

ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第3番*

ベートーヴェン／交響曲第5番「運命」

ベートーヴェン『第九』特別演奏会(12/18,19,20)

指揮：尾高忠明(東京フィル 桂冠指揮者)

ソプラノ：吉田珠代

アルト：中島郁子

テノール：清水徹太郎

バリトン：伊藤貴之

合唱：新国立劇場合唱団(合唱指揮：水戸博之)

ベートーヴェン／交響曲第9番『合唱付』

協賛：楽天株式会社(12/19)、楽天カード株式会社(12/20)



桂冠指揮者・尾高忠明



作曲家生誕250年、記念すべき1年の締め括りに、「歓喜の歌」は変わらぬ美しさでホールに響きわたりました



ロビーではオーナメントやプログラムがお客様をお迎え(12/19サントリー公演)



開演前、舞台裏にて

令和2年度 文化庁「文化芸術による子供育成総合事業 巡回公演事業」 ／「子供のための文化芸術体験機会の創出事業」ご報告

東京フィルでは今年度も北海道・東北・関東・関西など広範地域で文化庁の主催による「文化芸術による子供育成総合事業 巡回公演事業」を予定しておりましたが、一部の地域・学校では新型コロナウイルス感染拡大により公演の中止を余儀なくされる事態となりました。これを受けて、文化庁では新たに「子供のための文化芸術体験機会の創出事業」を策定。各訪問校との協力のもと、安全対策を講じた上で公演を継続し、児童・生徒・教員の皆様に音楽をお届けしています。

◇「文化芸術による子供育成総合事業 巡回公演事業」

一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行い、実演では、子供たちにも参加してもらいます。



ボディパーカッションや合唱(手話)などで子供たちも演奏に参加します

訪問校一覧(道府県別・訪問順)

B区分	北海道	小樽市立望洋台中学校、小樽市立長橋中学校
	北海道	釧路市立中央小学校、岩見沢市立志文小学校
	福島県	喜多方市立熊倉小学校、福島市立立子山小学校、二本松市立原瀬小学校
C区分	宮城県	仙台市立根白石小学校
	新潟県	村上市立保内小学校
	栃木県	日光市立今市小学校、日光市立栗山小中学校
	埼玉県	久喜市立清久小学校
	京都府	京丹後市立島津小学校、相楽東部広域連立南山城小学校

◇「子供のための文化芸術体験機会の創出事業」

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止せざるを得なかった文化芸術鑑賞・体験教室等について、文化庁が支援することにより、子供たちが質の高い文化芸術に触れる機会を創出し、冷え込んだ文化芸術への関心を取り戻すことを目的とします。



訪問校一覧(道府県別・訪問順)

B区分	北海道	北斗市立大野中学校、札幌市立手稲鉄北小学校
	千葉県	市川市立鬼高小学校、山武市立山武西小学校
	埼玉県	さいたま市立指扇北小学校
	神奈川県	湯河原町立吉浜小学校
C区分	山梨県	甲州市立塩山中学校、笛吹市立一宮南小学校、山梨県立盲学校 山梨県立高等支援学校桃花台学園
	北海道	岩見沢市立志文小学校
	群馬県	前橋市立中川小学校
	東京都	世田谷区立中里小学校
	京都府	京都市立安朱小学校

演奏会場の感染対策について

演奏会の開催にあたり、リハーサルから本番に至るまで、お客様、出演者、スタッフ等、すべての関係者の安全と健康を最優先に、日本国政府・東京都および関係団体から発表された新型コロナウイルス感染拡大予防のためのガイドラインに従い、舞台上・舞台裏・楽屋・客席ロビーなどにおける対策を講じております。 写真=三浦興一



入場前の手指消毒、間をあけて整列のお願い



入場券の目視確認と、サーモグラフィカメラ等での検温を行っています



お帰りの際に、ご来場者全員のチケットを回収させていただきます

万が一、ご来場者様の中から感染者が発生した場合には、国の機関、地方公共団体の保健所等と連携の上、お客様のチケット購入者情報、または会場でお渡しする「ご来場者・緊急連絡先記入用紙」ないしチケットの裏にご記入いただいたご連絡先を緊急連絡先として使用させていただきます。ご連絡先は公演後1か月間、厳重に保管の後、焼却処分いたします。防疫上の目的以外には使用いたしません。

News & Information

ご寄附の御礼

株式会社三井住友フィナンシャルグループ
株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

上記企業様より、新型コロナウイルス感染症対策として、公益社団法人日本オーケストラ連盟を通じ、ご寄附をいただきました。ご支援に心より御礼申し上げます。
(五十音順、敬称略)

11月よりチェロ・セクション(フォアシューピラー)に黒川実咲が入団いたしました。

「皆さま、はじめまして。チェロの黒川実咲です。

高校生の頃に初めて生のオペラを観て(『フィガロの結婚』でした)いつか演奏したいなと思っていました。初めてのオペラは『蝶々夫人』で、それから益々オペラが大好きになりました。演奏するのは勿論ですが、オーケストラピットの中から開演時の客席の照明が落ちるあの瞬間を見るのが大好きなんです。

とにかく楽しいことがあるとわくわくするので、いつも素敵な楽しい時間を過ごさせていただいている大好きな東京フィルの一員として、たくさん学んで経験できることに誇りを持ち、しっかり頑張りたいと思います! どうぞよろしくお願ひいたします」。



11月よりチェロ・セクション(フォアシューピラー)に広田勇樹が入団いたしました。

「皆さん、はじめまして。広田勇樹です。

猫とヤモリを飼っています。絶妙な組み合わせです。

チェロを弾く事が大好きです。これから東京フィルの一員となり、素敵なメンバーの方々と一緒に演奏し、お客様に音楽をお届け出来る事が本当に嬉しいです。

休日はドライブをしたり、温泉に行ったり、好きな物を好きなだけ食べたりして過ごしています。今後ともどうぞよろしくお願ひ致します」。



12月末をもってハープ奏者 宮原真弓が定年退団いたしました。

ハープ奏者 宮原真弓が昨年12月の新国立劇場バレエ『くるみ割り人形』公演をもって定年退団いたしました。

「入団は平成元年、32年間勤めました。

ハープが活躍する演目の多い東京フィルの団員として過ごせた事で、数多くのオーケストラ、オペラ、バレエ作品を素晴らしい指揮者、共演者、そして東京フィルのメンバーとご一緒できたことは私にとって一生の宝です。

一番印象深く記憶に残っているのはフェドセーエフさんとのプロコフィエフ『ロメオとジュリエット』。厳しく、温かく、熱い音楽でした。

これからも東京フィルのさらなる発展をお祈りしております。32年間ありがとうございました」。

退団直後の1月にも「NHKニューイヤーオペラコンサート」に登板された宮原さん。世界的にも数少ない「劇場オーケストラのハーピスト」としての豊かな経験のもと、さまざまな公演で活躍されました。長きにわたり、ありがとうございました。



©三好英輔

特別連載

「音楽とともに生きる」

世界が未知の病に震撼した2020年。「音楽は不要不急」の言葉が飛び交う中でも、音楽が人の心を癒やし、分断をつなげ、深く精神を成長させ鼓舞してくれることを知り演奏を届けることに生涯を捧げる音楽家たち。本コーナーでは、音楽に一生を捧げ、さまざまに困難を抱えながらも立ち向かい生きる演奏家たちの姿をお届けしていきます。

Episode
1ヴァイオリン奏者
山内祐子さん談：山内研自
(東京フィル ホルン奏者)

2020年10月8日、東京フィルで35年にわたりヴァイオリン奏者をつとめた山内祐子さんが、がんとの闘病の末に逝去されました。夫であり東京フィル入団以来同僚として共に演奏活動を続けてきたホルン奏者・山内研自の談話と共に故人を偲びつつ、演奏家としてのキャリア、そしていのちと向き合ったヴァイオリニストの軌跡を見つめます。



「1985年から35年間にわたり東京フィルのお客様の前で演奏してきた妻山内祐子は昨年10月8日に帰らぬ人となりました。6年あまり前に乳がんが見つかったからさまざまな治療を続けながら昨年3月まで演奏を続けてきましたがコロナ禍で活動がなくなっている間に症状が進み力尽きました。何よりもオーケストラで演奏することを愛した妻は、ヴァイオリン奏者フォアシュペラーとして、キャリア前半を第

一ヴァイオリン、その後本人の要望で第二ヴァイオリンで活動しました。オーケストラの音楽に様々な角度から関わることで自分のスキルを高めたいという気持ちがあるのだと思います。オーケストラで演奏する楽しさと充実感を子どもたちに知ってもらうことへの活動は、妻の演奏家以外のキャリアでもとても大切にしていることでした。かつての東京フィルファミリーオーケストラへの献身的な関わりをはじめ、様々なジュニアオーケストラでも指導に熱意を注ぎ、葬儀にはそれらの若い演奏家達もたくさん参列してくれました。妻でありながら心から尊敬出来る音楽家でもありました。東京フィルのお客様におかれましては今まで長いあいだ妻の演奏する音楽を聴いていただいたことに対し心より感謝申し上げます」 (ホルン奏者 山内研自)

「最初に異常が見つかったのは2014年の2月です。夫婦で毎年受けていた定期検診、乳がんの触診で『ちょっと気になるところがあるから精密検査を受けた方がいいですよ』という結果になりました。その時は二人とも『まさか』という感じで深刻なことはあまり考えていなかったのです。

その年の3月、東京フィルは創立100周年記念事業としてのワールドツアーを控えていましたが、妻は実はこの演奏旅行には参加できませんでした。娘がまだ中学3年生で、卒業式も控えており、中学生の子どもたちを置いて親が二人とも海外に行ったままというわけにもいかず、私だけがツアーに行きました。私からは出発前に『精密検査を受けてね』ということは言っていました。妻はツアーに参加できないことを非常に悔しがっていて、ちょっと意固地になっているようなところもあったのです。それでも、このツアーの間に検査に行ってくれました。

はっきりと結果が出たのはツアーから戻ったその日。私ที่บ้านに帰ると同時に、病院に行っていた妻から連絡があり、すぐに病院に来て欲しいと言われ病院に駆けつけました。そして、医師からの診断結果——乳がんであるという確定の診断結果を聞きました。そこから、どのように治療するかということで医師とも話し、詳しく検査したところでは乳房以外への転移はないという診断結果が出たので、治療の選択肢としては手術して全摘するのが一番良いであろうということになりました。手術を受けたのは2014年の4月です。



ホルン奏者 山内研自
2020年「第九」特別演奏会にて ©上野隆文



2014年東京フィル創立100周年ワールドツアーロンドン公演より ©Clive Barda

仕事はその時、2か月ほど休んだでしょうか。ワールドツアーに参加していなかったこともあって、同僚で病気のことを知っている人はほんの一握りだったと思います。復帰はその年の6月か7月くらいだったと思うのですが、大多数の同僚はそんなこと全く知らないで、『久しぶりに会いましたね〜』くらいの感じで済んでいたのではないのでしょうか。

演奏家としてお客様の前で 演奏し続けてこられたということに、 心から感謝

本人は、仕事に戻ることにについては本当に前向きでいたと思います。

もともと体はいたって丈夫な方で、ほとんど病気をしたことはない人でした。まさかそんな大病を患うとは思っていませんでした。ふだん健康だから大丈夫だということではないのだと、改めてその怖さを知りました。いわゆる生活習慣病のようなものであれば、日頃から健康診断で数値が悪いことを指摘されるかもしれませんが、がんはそういうものとは関係ない。ある日突然宣告されるという事態になるのだということを改めて実感しました。



2007年から第二ヴァイオリンフォアシュビュラーとして活動した ©上野隆文

入団したのが1985年ですから、そこからもう35年間。長きにわたって東京フィルを聴きにきてくださっているお客様が今までたくさんいて、私たちは聴いてくださる方がいて初めて成り立つ仕事ですから、そうして聴き続けていただいたお客様には、感謝の気持ちしかありません。

お客様の前で演奏することは、私たちにとっては喜びでもありプレッシャーでもあります。常に自分のクオリティやモチベーションを維持し続けるということは、実はなかなか大変な作業ではあるのです。けれども、定期演奏会のお客様の前に立つということは、「東京フィルの」演奏を聴きにきてくださっている方々の前で演奏するわけですから、気持ちも引き締まります。お客様の前でずっと演奏できたということ



山内祐子さんが出演した最後の定期演奏会は2020年1月定期演奏会。第二ヴァイオリンの2フルト内側に座る ©上野隆文

は、演奏家として、とてもやり甲斐があり、ありがたいことでもあります。私たちが音楽を頑張っているというモチベーションになる一番の原動力です。そのような機会を35年間にわたって続けてこられたということには、心から感謝したいと思いますし、妻も、きっとそのように思っていると思います」。 〈続く〉

「No Music No Life」

日本ライフライン株式会社 代表取締役社長
鈴木啓介



東京フィルのゆかりの方々に、クラシック音楽に魅了されたきっかけや音楽生活について綴っていただく新連載がスタートします。第1回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に際し、いち早く東京フィルにデスポーザブル・マスク10,000枚をご寄付いただいた東京フィルの法人賛助会員でもある日本ライフライン株式会社 代表取締役社長 鈴木啓介様よりご寄稿いただいたエッセイです。

ある時「No Music No Life」という言葉を耳にし、ふと自分を振り返りました。音楽とは無縁な生活で好きな音楽に浸る時間など、想像したこともありませんでした。7年ほど前の話です。

それでも80年代初頭に出張先のウィーンで、カラヤンのベルリンフィルを鑑賞したことや、カルロス・クライバーの東京でのオペラも経験していたので、素人ながらも本物の凄みや華麗さの記憶は残っていました。

そこで還暦を機に一念発起し「No Music No Life 体現作戦」を決心しました。とにかく数多くのコンサートに足を運び、生で質の良い音を身体に染み込ませようと、東京フィル・コンサートを口切に海外からの著名なコンサートには必ず出向いてきました。四楽章が終わっても指揮棒が止まったままの「凍りつくような静寂」に、鳥肌が立つような瞬間も体験出来ました。



東京フィル評議員も務める鈴木氏。音楽の話題になると笑みがこぼれ、お話にも熱が入ります

日本ライフライン株式会社が毎年8月に開催している、従業員の皆様を招いての納涼祭。例年、東京フィルメンバーによる室内楽をお届けしています。2020年はオンライン配信で開催し、全国の社員様・ご家族含め数百名の皆様をご視聴くださったそうです



もう一つは、人が長年かけて培ってきたクラシック鑑賞の基礎知識を2年くらいで追いついてみようと試みたことです。大容量ウォークマン®を入手し、ダウンロードしたクラシックにまつわる電子書籍を読みあさりながら、有名とされる曲を次々と聴きこんでいきました。現在私のウォークマン®には100人くらいの作曲家作品が、楽章で数えると2,300曲くらい手作業で分類されています。作曲家の歴史的時代背景を勉強し想像しながらの作業は楽しいものでした。結果的に1750年くらいから約200年間の近代ヨーロッパの歴史探訪も叶いました。これでどこに居ようと、その時の気分に合わせて選曲し、「一人コンサート」を楽しめるようになったわけです。特に出張中の機上は、極上の時間となりました。

東京フィルのコンサートは私のクラシック鑑賞のベースになっています。さらに社員家族を招いての納涼祭には小編成の室内楽演奏を毎年お願いしています。大声で騒いでいた子どもたちが急に静まり返り、固唾を呑んで耳を傾ける姿には毎回驚かされます。やはり本物の音は誰の心にも届くし響くし、そして豊かにしてくれると、つくづく実感しています。

鈴木啓介(すずき・けいすけ)

1977年明治大学経営学部卒業。1977年医療機器輸入販売のスタートアップ企業へ入社。1981年日本ライフライン株式会社創業 Co-Founder。2005年代表取締役社長(現任)。
平成29年より(公財)東京フィルハーモニー交響楽団評議員。

日本ライフライン株式会社様は1981年創業。「最新最適な医療機器を通じて健康社会の実現に貢献する」ことを経営理念とし、おもに心臓・血管の疾患の治療に関わる医療機器の輸入・製造および販売を行っています。URL: <https://www.jll.co.jp/>

大寒の候、時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
 2021年を迎え、厳しい寒さの中にも清々しさが感じられるこの折に、
 皆様に晴れやかな響きをご堪能いただけるよう、楽団員と共に努めてまいります。
 引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団 理事長 三木谷 浩史



賛助会

東京フィルハーモニー交響楽団の活動は、
 法人並びに個人(パートナー会員)の皆様のご寄附により支えていただいております。
 ここにそのご芳名を掲げ、改めて御礼申し上げます。

オフィシャル・サプライヤー (敬称略)

ソニー株式会社	代表執行役 会長 兼 社長 CEO	吉田 憲一郎
楽天株式会社	代表取締役会長兼社長	三木谷 浩史
株式会社マルハン	代表取締役会長	韓 昌祐
株式会社ロッテ	代表取締役社長執行役員	牛腸 栄一
株式会社ゆうちょ銀行	取締役兼代表執行役社長	池田 憲人

法人会員

賛助会員 (五十音順・敬称略)

(株)IHI	代表取締役社長 井手 博	ANAホールディングス(株)	代表取締役社長 片野坂 真哉
(株)アイエムエス	取締役会長 前野 武史	(株)NHKエンタープライズ	代表取締役社長 安齋 尚志
相澤内科医院	理事長 相澤 研一	桜美林大学	総長 大越 孝
アイ・システム(株)	代表取締役会長 兼 社長 松崎 務	大塚化学(株)	特別相談役 大塚 雄二郎
(株)アシックス	代表取締役会長CEO 尾山 基	(株)オーディオテクニカ	代表取締役社長 松下 和雄
(株)インターテクト	代表取締役 海野 裕	(公財)オリックス宮内財団	代表理事 宮内 義彦

花王(株)	代表取締役 社長執行役員	長谷部 佳宏	トッパン・フォームズ(株)	代表取締役社長	坂田 甲一
カシオ計算機(株)	代表取締役社長	樫尾 和宏	トヨタ自動車(株)	代表取締役社長	豊田 章男
キヤノン(株)	代表取締役会長兼社長 CEO	御手洗 富士夫	DOWAホールディングス(株)	代表取締役社長	関口 明
(株)グリーンハウス	代表取締役社長	田沼 千秋	(株)ニチケアパレス	代表取締役	齊藤 正俊
コスモエネルギーホールディングス(株)	代表取締役社長 社長執行役員	桐山 浩	(株)ニフコ	代表取締役社長	山本 利行
サントリホールディングス(株)	代表取締役社長	新浪 剛史	日本ライフライン(株)	代表取締役社長	鈴木 啓介
信金中央金庫	理事長	柴田 弘之	(株)パラダイスインターナショナル	代表取締役	新井 秀之
新菱冷熱工業(株)	代表取締役社長	加賀美 猛	富士電機(株)	代表取締役社長	北澤 通宏
(株)J.Y.PLANNING	代表取締役	遅澤 准	(株)不二家	代表取締役社長	河村 宣行
(株)滋慶	代表取締役社長	田仲 豊徳	(株)三井住友銀行	頭取CEO	高島 誠
(株)ジーヴァエナジー	代表取締役社長	金田 直己	三菱商事(株)	代表取締役社長	垣内 威彦
菅波楽器(株)	代表取締役社長	菅波 康郎	三菱倉庫(株)	相談役	宮崎 毅
相互物産(株)	代表取締役会長	小澤 勉	(株)三菱UFJ銀行	特別顧問	小山田 隆
ソニー(株)	代表執行役 会長 兼 社長 CEO	吉田 憲一郎	ミライラボバイオサイエンス	代表取締役	田中 めぐみ
ソニー生命保険(株)	代表取締役社長	萩本 友男	(株)明治	代表取締役社長	松田 克也
(株)ソニーミュージックエンタテインメント	代表取締役社長CEO	村松 俊亮	森ビル(株)	代表取締役社長	辻 慎吾
(株)大丸松坂屋百貨店	代表取締役社長	澤田 太郎	ヤマトホールディングス(株)	代表取締役社長	長尾 裕
高砂熱学工業(株)	代表取締役社長	小島 和人	(株)山野楽器	代表取締役社長	山野 政彦
都築学園グループ	総長	都築 仁子	ユニオンツール(株)	代表取締役会長	片山 貴雄
東急(株)	取締役社長	高橋 和夫	楽天(株)	代表取締役会長兼社長	三木谷 浩史
東京オペラシティビル(株)	代表取締役社長	三和 千之	(株)リソー教育	取締役会長	岩佐 実次
東レ(株)	代表取締役社長	日覺 昭廣			

後援会員

(株)アグレックス	代表取締役社長	八尾 政範	(株)トレミール	代表取締役	茶谷 幸司
欧文印刷(株)	代表取締役社長	和田 美佐雄	(株)日税ビジネスサービス	代表取締役会長兼社長	吉田 雅俊
(有)オルテンシア	代表取締役	雨宮 睦美	富士通(株)	代表取締役社長	時田 隆仁
(医)カリタス菊山医院	理事長	加藤 徹	本田技研工業(株)	代表取締役社長	八郷 隆弘
(医)だて内科クリニック	理事長	伊達 太郎	三菱地所(株)	執行役社長	吉田 淳一
(宗)東京大仏乗蓮寺	代表役員	若林 隆壽	三菱重工業(株)	取締役社長	泉澤 清次
(一社)凸版印刷三幸会	代表理事	足立 直樹	三菱電機(株)	執行役社長	杉山 武史

ご支援の御礼とお願い

2021年3月、東京フィルハーモニー交響楽団は創立110年を迎えます。

1月に新シーズンが開幕する東京フィルは、1月から12月までの一年を通じて、皆様の新しい暮らしと響きあう音楽をお届けし、心豊かな社会へと繋ぐ役割を担います。定期演奏会や「午後のコンサート」、特別演奏会や提携都市公演ほか、多様な音楽活動を通して、国際的に活躍する演奏家や将来を嘱望された若手演奏家らと様々な作品に取り組み、より広く、多くの皆様にオーケストラの価値を認知いただけるよう尽力いたします。そして、日本の芸術文化発展に寄与すべく、多様化するグローバルな社会において文化交流の架け橋となるよう、より一層努めてまいります。

是非とも皆様方からお力添えを賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団

賛助会（法人／パートナー（個人））会員の種別

種別	年会費1口	
オフィシャル・サブライヤー	詳細はお問い合わせください。	
法人会員	賛助会員	50万円
	後援会員	30万円
パートナー会員	ワンハンドレッドクラブ	100万円
	フィルハーモニー	50万円
	シンフォニー	30万円
	コンチェルト	10万円
	ラブノディ	5万円
	インテルメッツォ	3万円
	プレリユード	1万円

※東京フィルハーモニー交響楽団は内閣府により「公益財団法人」に認定されており、ご寄附の金額に応じて税法上の優遇措置を受けることができます。その他特典、お申込みや資料請求など、詳しくは東京フィル広報渉外部担当へお問合せください。

寄附をご検討くださいます際には、主催公演会場「賛助会デスク」または東京フィル担当(partner@tpo.or.jp)までお尋ねください。資料をお送りいたします。ご入会後は、1年ごとに継続のご案内をお送りいたします。

【賛助会に関するお問合せ・お申込み】

東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部（担当：星野^{かのぼた}鹿文）

電話：03-5353-9521（平日10時～18時） Eメール：partner@tpo.or.jp

新型コロナウイルス感染症拡大に際してのご支援の御礼とお願い

今般の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2020年2月下旬より東京フィルが出演する演奏会のすべてが数ヶ月にわたり中止・延期となりました。東京フィルの財源は演奏料収入がほとんどを占めるため、演奏会およびチケット収入の壊滅は団体存続の危機に直結いたします。そのような中、たくさんの励ましのお言葉とともに、チケット払戻し辞退や、銀行振込等による温かいご支援をいただきました。心よりお礼申し上げます。

今後も、当面の間はお客様ならびに関係者の安全と安心を最優先に、状況を注視しながら公演を行ってまいるのがございます。皆様におかれましては、改めて楽団を取り巻く状況についてご理解を賜りますとともに、いっそうのご支援・ご助力を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご寄附が大きな力となります。

弊団へのご寄附をいただけます際には、こちらの口座のいずれかにお振込みいただきましたら幸いです。1万円以上のご寄附をご検討いただける際は、賛助会（前ページ）も併せてご覧ください。

金融機関名	口座番号	口座名義
ゆうちょ銀行 (郵便振替)	00120-2-30370	公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団
三井住友銀行・ 東京公務部(096)	普通預金 3003239	

※ ご寄附の金額は自由に設定いただけます。

※ 振込手数料、通信費は恐れ入りますがご負担くださいますようお願い申し上げます。

※ 領収証書が必要な方は、お手数ですがお振込後に、別途配布しております「寄附申込書」に必要事項を記入して、下記へご送付ください。

寄附申込書のダウンロードはこちらからも取得いただけます。
https://www.tpo.or.jp/support/img/support_TPO.pdf



【ご支援のお問合せ／寄附申込書 送付先】

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団・広報渉外部 寄附担当
〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8階
Fax 03-5353-9523 Eメール: partner@tpo.or.jp
Tel 03-5353-9521 (土日祝日を除く10時～18時)

皆様のご寄附は東京フィルの様々な活動を支えています。

フランチャイズ・ホール、事業提携都市との連携

東京フィルは、フランチャイズ・ホールであるBunkamuraオーチャードホール等での定期演奏会の他、東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市の各地域と事業提携を結び、定期演奏会、親子のためのコンサートや中高生などへの楽器ワークショップ等、地域の皆様との交流を通じ音楽の魅力をお届けしています。

文化庁「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」

文化庁が主催する本事業は、日本全国の小中学校や特別支援学校を訪問し、一流の文化芸術団体による巡回公演を行っています。ワークショップ(少人数での事前指導)と、オーケストラによる本公演をお届けしています。国内オーケストラでは唯一、文化庁から5年間の長期採択を受け(2014~2018年度)、東日本大震災地域を含む北海道・東北地区の小中学校99校、のべ43,361名の児童・生徒、地域の皆様と交流を行いました。2019年度は、これまでの訪問地域に加え、関東・東海地区の小中学校36校、のべ16,000名以上の児童・生徒に音楽をお届けしました。(2020年度の報告は28ページをご参照ください)



小学校体育館でのオーケストラ本公演

留学生の演奏会ご招待…留学生招待シート

東京フィルでは国際交流事業の一環として、海外からの留学生や研修員の方々を定期演奏会へご招待する「留学生招待シート」を設けており、皆様からご寄附いただいたチケットも有効に活用させていただきます。



定期演奏会に來場のJICA東京研修生の皆様とチョン・ミョンフン(2019年7月東京オペラシティ定期)
©上野隆文

東日本大震災“とどけ心に”特別招待シート

東日本大震災により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。東京フィルでは2011年4月より、震災によりふるさとから避難されている方々を当団の公演にご招待しております。

※留学生招待シート、東日本大震災“とどけ心に”特別招待シートは、当面の間ご案内を停止させていただいております。詳細は次ページをご参照ください。

ご来場いただけなくなった定期演奏会チケットのご寄附について

東京フィルでは、ご購入いただきながらご来場いただけなくなった定期演奏会のチケットをご寄附いただき「留学生招待シート」「東日本大震災」とどけ心に”特別招待シート”として活用させていただいて参りました。新型コロナウイルス感染症拡大防止策の実施に伴い、チケット寄附の運用を見合わせておりましたが、2021年1月定期よりご案内を再開いたしました。お問合せ・お申込みは**東京フィルチケットサービス03-5353-9522**（平日10時～18時/土日祝休）までご連絡ください。

2020年3月以降に中止となった東京フィル定期演奏会/午後のコンサートのチケットの払戻を辞退することによる東京フィルへのご寄附については、ご希望の方に税控除のための確定申告用の書類（寄附領収証書・税額控除に係る証明書）をお送りしております。税控除に関する詳細は東京フィル事務局・寄附担当 partner@tpo.or.jp までお問合せください。

特別公演、公演協賛、広告のご案内

東京フィルハーモニー交響楽団は、様々な音楽活動を通して、企業様の大切な節目である周年記念事業や式典、福利厚生イベント等でご活用いただけるオンラインワンの特別企画を展開しております。

- 商品のプロモーションとして何か施策を考えたい
- 社内向けイベントで室内楽の演奏を企画したい
- 東京フィルの公演プログラムに広告を掲載したい
- 新製品、サンプルを会場で販売・配布したい

どうぞお気軽にご用命ください。



日中国交正常化45周年記念上海公演後のレセプションにて

【広告・協賛のお問合せ】 東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部
電話: 03-5353-9521 (平日10時～18時) Eメール: partner@tpo.or.jp

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフを擁する。Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティ コンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、『名曲アルバム』『NHKニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『東急ジルベスターコンサート』『NHK紅白歌合戦』『情熱大陸』などの放送演奏やドキュメンタリー、各地学校等での訪問コンサート等により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として、高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を得ている。

1989年からBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

Tokyo Philharmonic Orchestra

In 2011, the Tokyo Philharmonic Orchestra celebrated its 100th anniversary as Japan's first symphony orchestra. With about 160 musicians, TPO performs both symphonies and operas regularly. TPO is proud to have appointed Maestro Myung-Whun Chung, who has been conducting TPO since 2001, as Honorary Music Director, Maestro Andrea Battistoni as Chief Conductor and Maestro Mikhail Pletnev as Special Guest Conductor.

TPO has established its world-class reputation through its subscription concert series, regular opera and ballet assignments at the New National Theatre, and a full, ever in-demand agenda around Japan and the world, including broadcasting with NHK Broadcasting Corporation, various educational programs, and tours abroad.

TPO has partnerships with Bunkamura Orchard Hall, the Bunkyo Ward in Tokyo, Chiba City, Karuizawa Cho in Nagano and Nagaoka City in Niigata.

Official Website / SNS <https://www.tpo.or.jp/>   



©上野隆文

東京フィルハーモニー交響楽団 1911年創立 楽団員

Tokyo Philharmonic Orchestra Since 1911 / Musicians

名誉音楽監督

Honorary Music Director

チョン・ミョンフン

Myung-Whun Chung

首席指揮者

Chief Conductor

アンドレア・バットティストーニ

Andrea Battistoni

桂冠指揮者

Conductor Laureate

尾高 忠明

Tadaaki Otaka

大野 和士

Kazushi Ono

ダン・エッティンガー

Dan Ettinger

特別客演指揮者

Special Guest Conductor

ミハイル・プレトニョフ

Mikhail Pletnev

レジデント・コンダクター

Resident Conductor

渡邊 一正

Kazumasa Watanabe

アソシエイト・コンダクター

Associate Conductor

チョン・ミン

Min Chung

永久名誉指揮者

Permanent Honorary Conductor

山田 一雄

Kazuo Yamada

永久楽友・名誉指揮者

Permanent Member and
Honorary Conductor

大賀 典雄

Norio Ohga

コンサートマスター

Concertmasters

近藤 薫

Kaoru Kondo

三浦 章宏

Akihiro Miura

依田 真宜

Masanobu Yoda

第1ヴァイオリン

First Violins

小池 彩織☆

Saori Koike

榊原 菜若☆

Namo Sakakibara

坪井 夏美☆

Natsumi Tsuboi

枡本 三津子☆

Mitsuko Tochimoto

平塚 佳子☆

Yoshiko Hiratsuka

浅見 善之

Yoshiyuki Asami

浦田 絵里

Eri Urata

景澤 恵子

Keiko Kagesawa

加藤 光

Hikaru Kato

巖築 朋美

Tomomi Ganchiku

坂口 正明

Masaaki Sakaguchi

鈴木 左久

Saku Suzuki

高田 あきの

Akino Takada

田中 秀子

Hideko Tanaka

中澤 美紀

Miki Nakazawa

中丸 洋子

Hiroko Nakamaru

廣澤 育美

Ikumi Hiroswawa

弘田 聡子

Satoko Hirota

藤瀬 実沙子

Misako Fujise

松田 朋子

Tomoko Matsuda

第2ヴァイオリン

Second Violins

戸上 真里◎

Mari Togami

藤村 政芳◎

Masayoshi Fujimura

水島 路◎

Michi Mizutori

宮川 正雪◎

Masayuki Miyakawa

小島 愛子☆

Aiko Kojima

高瀬 真由子☆

Mayuko Takase

石原 千草

Chigusa Ishihara

出原 麻智子

Machiko Idehara

太田 慶

Kei Ota

葛西 理恵

Rie Kasai

黒沢 誠登

Makoto Kurosawa

佐藤 実江子

Mieko Sato

高木 祐香

Yuuka Takagi

二宮 祐子

Yuko Ninomiya

山代 裕子

Yuko Yamashiro

吉田 智子

Tomoko Yoshida

吉永 安希子

Akiko Yoshinaga

若井 須和子

Suwako Wakai

渡邊 みな子

Minako Watanabe

ヴァイオラ

Violas

須田 祥子◎

Sachiko Suda

須藤 三千代◎

Michiyo Suto

高平 純◎

Jun Takahira

加藤 大輔◎

Daisuke Kato

伊藤 千絵

Chie Ito

岡保 文子

Ayako Okayasu

曾和 万里子

Mariko Sowa

高橋 映子

Eiko Takahashi

手塚 貴子

Takako Tezuka

中嶋 圭輔

Keisuke Nakajima

蛭海 たづ子

Tazuko Hirumi

古野 敦子

Atsuko Furuno

村上 直子

Naoko Murakami

森田 正治

Masaharu Morita

チェロ Cellos	コントラバス Contrabasses	オーボエ Oboes	ホルン Horns	トロンボーン Trombones	ハープ Harps
金木 博幸◎ Hiroyuki Kanaki	片岡 夢児◎ Yumeji Kataoka	荒川 文吉◎ Bunkichi Arakawa	磯部 保彦◎ Yasuhiro Isobe	五箇 正明◎ Masaaki Goka	梶 彩乃 Ayano Kajii
服部 誠◎ Makoto Hattori	黒木 岩寿◎ Iwahisa Kuroki	加瀬 孝宏◎ Takahiro Kase	齋藤 雄介◎ Yusuke Saito	中西 和泉◎ Izumi Nakanishi	田島 緑 Midori Tajima
渡邊 辰紀◎ Tatsuki Watanabe	小笠原 茅乃◎ Kayano Ogasawara	佐竹 正史◎ Masashi Satake	高橋 臣宜◎ Takanori Takahashi	辻 姫子◎ Himeko Tsuji	ライブラリアン Librarians
黒川 実咲☆ Misaki Kurokawa	遠藤 柁一郎 Shuichiro Endo	杉本 真木 Maki Sugimoto	今井 彰 Akira Imai	石川 浩 Hiroschi Ishikawa	武田 基樹 Motoki Takeda
高麗 正史☆ Masashi Korai	岡本 義輝 Yoshihito Okamoto	三谷 真紀 Maki Mitani	大東 周 Shu Ohigashi	平田 慎 Shin Hirata	ステージマネージャー Stage Managers
広田 勇樹☆ Yuki Hirota	小栗 亮太 Ryota Oguri	若林 沙弥香 Sayaka Wakabayashi	木村 俊介 Shunsuke Kimura	山内 正博 Masahiro Yamauchi	稲岡 宏司 Hiroshi Inaoka
石川 剛 Go Ishikawa	熊谷 麻弥 Maya Kumagai	クラリネット Clarinets	田場 英子 Eiko Taba	チューバ Tubas	大田 淳志 Atsushi Ota
大内 麻央 Mao Ouchi	菅原 政彦 Masahiko Sugawara	チョ・スンホ◎ Sungcho Cho	塚田 聡 Satoshi Tsukada	大塚 哲也 Tetsuya Otsuka	古谷 寛 Hiroshi Furuya
太田 徹 Tetsuya Ota	田邊 朋美 Tomomi Tanabe	アレッサンドロ・ ベヴェラリ◎ Alessandro Beverari	豊田 万紀 Maki Toyoda	荻野 晋 Shin Oginô	
菊池 武英 Takehide Kikuchi	中村 元優 Motomasa Nakamura	万行 千秋◎ Chiaki Mangyo	山内 研自 Kenji Yamanouchi	ティンパニー& パーカッション Timpani & Percussion	
佐々木 良伸 Yoshinobu Sasaki	フルート Flutes	黒尾 文恵 Fumie Kuroo	山本 友宏 Tomohiro Yamamoto		
長谷川 陽子 Yoko Hasegawa	神田 勇哉◎ Yuya Kanda	林 直樹 Naoki Hayashi	トランペット Trumpets	岡部 亮登◎ Ryoto Okabe	
渡邊 文月 Fuzuki Watanabe	齊藤 和志◎ Kazushi Saito	ファゴット Bassoons	川田 修一◎ Shuichi Kawata	塩田 拓郎◎ Takuro Shiota	
	吉岡 アカリ◎ Akari Yoshioka	チェ・ヨンジン◎ Young-Jin Choe	野田 亮◎ Ryo Noda	高野 和彦◎ Kazuhiko Takano	
	さかはし 矢波 Yanami Sakahashi	廣幡 敦子◎ Atsuko Hirohata	古田 俊博◎ Toshihiro Furuta	木村 達志 Tatsushi Kimura	
	下払 桐子 Kiriko Shimobara	井村 裕美 Hiromi Imura	重井 吉彦 Yoshihiko Shigei	鷹羽 香緒里 Kaori Takaba	
	名雪 裕伸 Hironobu Nayuki	桔川 由美 Yumi Kikkawa	杉山 眞彦 Masahiko Sugiyama	縄田 喜久子 Kikuko Nawata	
		森 純一 Junichi Mori	前田 寛人 Hirohito Maeda	船迫 優子 Yuko Funasako	
				古谷 はるみ Harumi Furuya	

◎首席奏者
Principal○副首席奏者
Assistant Principal☆フオアシュピラー
Vorspieler

役員等・事務局・団友

役員等(理事・監事および評議員)

理事長	理事	監事	評議員
三木谷 浩史	浮舟 邦彦 大賀 昭雄	岩崎 守康 山野 政彦	伊東 信一郎 海老澤 敏
副理事長 黒柳 徹子	大塚 雄二郎 小山田 隆		佐治 信忠 鈴木 勲
専務理事 石丸 恭一	篠澤 恭助 田沼 千秋 寺田 琢		鈴木 啓介 瀬谷 博道 日枝 久
常務理事 工藤 真実	遠山 敦子 野本 弘文 韓 昌祐 平井 康文 宮内 義彦		南 直哉

事務局

楽団長 石丸 恭一	公演事業部 市川 悠一 岩崎 井織 大久保 里香 大谷 絵梨奈 佐藤 若菜 村尾 真希子	ステージマネージャー 稲岡 宏司 大田 淳志 古谷 寛	ライブラリアン 武田 基樹	広報渉外部 伊藤 唯 鹿又 紀乃 千木 加寿子 二木 憲史 星野 友子 松井 ひさえ 安田 ひとみ	総務 経理 川原 明夫 鈴木 美絵
--------------	--	--------------------------------------	------------------	--	-------------------------

団友

安藤 栄作 池田 敏美 糸井 正博 井料 和彦 岩崎 龍彦 植木 佳奈 上野 眞行 生方 正好 大兼久 輝宴 大和田 皓	岡部 純 小樽 敦子 小山 智子 甲斐沢 俊昭 加藤 明広 加藤 博文 金崎 真由美 川人 洋二 木村 友博 黒川 正三	河野 啓子 近藤 勉 今野 芳雄 齊藤 匠 坂口 和子 嵯峨 正雄 嵯峨 美穂子 桜木 弘子 笹 翠 佐々木 等	佐野 恭一 清水 真佐子 瀬尾 勝保 高岩 紀子 高村 千代子 竹林 良 竹林 陽子 田中 千枝 田村 武雄 津田 好美	戸坂 恭毅 長池 陽次郎 長岡 慎 長倉 穰司 新田 清枝 新田 伸雄 二宮 純 野仲 啓之助 玻名城 昌子 福村 忠雄	藤原 勲 細川 克己 細洞 寛 本田 詩子 松澤 久美子 湊 貞男 山屋 房子 吉田 啓義 米倉 浩喜 脇屋 俊介
---	---	---	---	---	--

〈発行日〉 2021(令和3)年1月22日(発行人)石丸 恭一

〈発行所〉 東京フィルハーモニー交響楽団

〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F Tel 03-5353-9521 Fax 03-5353-9523

フランチャイズ・ホール: Bunkamuraオーチャードホール 提携: 千葉市 文京区 軽井沢町 長岡市

〈デザイン〉 米田デザイン事務所 〈表紙画〉ハラダチエ 〈編集協力〉ひとま舎

〈印刷〉 欧文印刷株式会社

©Tokyo Philharmonic Orchestra *無断転載を禁ず(非売品)

新しい景色をみたい

In Search of a New Scene